

議会だより

No.109 平成21年3月定例会 4月16日発行

議会ホームページアドレス <http://www.city.nanyo.yamagata.jp/webs/gikai/>

主な内容

- 3月定例会…………… 2
- 2月臨時議会・3月定例会補正予算… 3
- 予算特別委員会………… 4～7
- 一般質問…………… 8～11
- 常任委員会審査報告… 12・13
- 置病議会報告…………… 13
- 置広議会報告…………… 14
- 請願審査結果表…………… 14
- 研修視察報告・編集後記… 14



スポーツは礼儀正しく、元気よく

南陽西部バレーボールスポーツ少年団は今年度で12年目に入りました。宮内・沖郷・漆山・梨郷地区の児童を対象に毎週月曜日、南陽市民体育館で活動しています。

団としては、バレーボール競技を通してスポーツすることの楽しさ・喜び・助け合う心などを養ってもらえればと思っています。

週一回と限られた活動日で精一杯練習に励んでいます。よろしくお願いします。



元気にがんばる子どもたち(12) 南陽西部バレーボールスポーツ少年団



3月定例会

3月定例会は2日より19日までの18日間の会期で開かれました。提出された議案は、同意案1件、条例案・その他16件、補正予算案8件、当初予算案11件が提案されそれぞれ原案のとおり同意・可決されました。一般質問は8議員が行い市当局の考えを質しました。

▲同意▼

○南陽市宮内財産区管理委員の選任について
任期満了に伴う選任
再任2名

小林 昭(再) 宮内四〇〇七
神保 庄治(再) 宮内二八六一

▲条例・その他▼

○南陽市福祉振興基金条例の設定について

○南陽市介護保険臨時特例基金条例の設定について

○南陽市高齢者住宅整備資金貸付条例を廃止する条例の設定について

○南陽市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について

○南陽市職員の勤務時間、休暇等

に関する条例の一部を改正する条例の制定について

○南陽市税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について

○南陽市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

○南陽市長寿祝金支給条例の一部を改正する条例の制定について

○南陽市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

○南陽市総合公園の指定管理者の指定について

○中央花公園の指定管理者の指定について

○向山公園の指定管理者の指定について

○南陽市赤湯市民体育館の指定管理者の指定について

○南陽市武道館の指定管理者の指定について

○南陽市民プールの指定管理者の指定について

議員発議

○南陽市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

○平成21年度山形県の私立学校関係予算の増額に関する意見書の提出について

第1回臨時会

2月2日臨時会が開かれ、専決補正予算及び地域活性化・生活対策臨時交付金に基づく補正予算が上程され原案のとおり承認・可決されました。

○平成20年度南陽市一般会計補正予算(第6号)についての専決処分承認を求めることについて

○平成20年度南陽市一般会計補正予算(第7号)



平成21年第1回臨時会

専決補正予算 スクールバス購入事業 1,180万円

一般会計補正予算額 2億1,830万3千円

一般会計総額 125億7,305万5千円に

(単位：千円)

| | | | | |
|--------------------|--------|--------|-----------------------------|--------|
| 1) 地域振興基金積立金 | 65,350 | 主な補正項目 | 6) 公用車両購入事業 | 11,046 |
| 2) 小中学校幼稚園施設維持修繕事業 | 44,000 | | 7) ハイジアパーク南陽修繕事業 | 10,000 |
| 3) 小中学校幼稚園耐震診断事業 | 14,000 | | 8) 安全安心農村集落整備事業 (用悪水路整備) | 10,000 |
| 4) 市道(側溝)、用悪水路整備事業 | 16,500 | | 9) 地区公民館施設整備事業 | 8,500 |
| 5) 福祉バス購入事業 | 11,500 | | 10) 中学校統合事業(改修事業) | 6,000 |

平成21年3月定例会 補正予算の概要

一般会計補正予算額 6億2,989万9千円

一般会計予算総額 132億295万4千円に

(単位：千円)

| | | | | |
|------------------|---------|--------|-------------------|--------|
| 1) 財政調整基金積立金 | 31,000 | 主な補正項目 | 6) 後期高齢者医療特別会計繰出金 | 19,187 |
| 2) 定額給付金給付事業 | 559,595 | | 7) 子育て応援特別手当交付事業 | 16,200 |
| 3) 心身障がい者医療給付事業 | 2,058 | | 8) 妊婦健康診査事業 | 2,000 |
| 4) 国民健康保険特別会計繰出金 | 30,387 | | 9) 置賜広域病院組合負担金 | 40,549 |
| 5) 介護保険特別会計繰出金 | 4,727 | | 10) ごみ減量基金積立金 | 3,261 |

平成21年度 当初予算決まる

一般会計 123億7,200万円

(前年度比 1.1%増)

(単位：千円)

| | | | | |
|--------------------|---------|------|----------------------|---------|
| 1) 小学校耐震補強改修事業 | 443,546 | 主な項目 | 8) 梨郷地区湛水防除事業 | 36,290 |
| 2) 宮内中学校改築整備事業 | 28,520 | | 9) 公用車両購入事業 | 14,000 |
| 3) スクールバス購入事業 | 25,800 | | 10) 元気ができるまちづくり交付金事業 | 5,000 |
| 4) 体育施設指定管理料 | 58,000 | | 11) 妊婦健康診査事業 | 22,058 |
| 5) 持家住宅建設助成金 | 15,000 | | 12) コミュニティー助成事業補助金 | 17,200 |
| 6) プレミアム商品券発行事業補助金 | 10,200 | | 13) 臨時地方道整備事業 | 170,000 |
| 7) ハイジアパーク南陽管理事業 | 30,351 | | 14) 防災拠点施設整備事業 | 395,180 |

予算特別委員会による質疑

3月12・13日の両日、予算特別委員会が開催され、ハイジアパークの経営状況や経済対策等の平成21年度当初予算に対し、活発な質問が出されました。なお、主な質疑の内容は次のとおりです。

一般会計

◎歳入全般について

〈議員〉個人・法人税及び固定資産税等税収が減少している。3カ年計画によれば交付税も減少する見込みになっているが、今後の推移はどうか。

〈市長〉交付税は4.5%減とみている。今の状態では今後のことは想像できない。景況をみて判断したい。

〈議員〉一自治体ではどうしようもない雇用・経済状態だからこそ市民の付託に答えていく必要があると思うが、対策は。

〈市長〉今後、県や国の追加支援もあるようだ。出来る限りの努力をしたい。

◎財産収入について

〈議員〉不動産売買収入を3,500万円ほどみているが、場所は

どこか。

〈企画財政課長〉場所は特定していない。

〈議員〉旧赤湯保育園跡地に取り付け道路を作って売る方法はどうか。計画はあるか。

〈市長〉今のところない。総合的に判断したい。

◎千代田処理場の談合について

〈議員〉経過について
 〈市長〉当初から問題があったようだが、オンブズマンの話では98%勝てるようだとの事。新聞報道のとおりである。

〈議員〉12億6,680万円の返還請求とあるが、拒否された場合はどうなるのか。

〈市長〉訴訟になると思うが、3市5町で足並みをそろえてやっていく事になる。

◎元気ができるまちづくり交付金について

〈議員〉内容はどのようなものか。

〈市民課長〉資源ゴミの売却益を使用するもので、世帯割と平等割で各地区に交付するものである。

〈副市長〉環境整備に使ってほしいと考えている。

〈議員〉各地区概算でどのくらいになるのか。

〈市民課長〉平等割4割、世帯割6割を考えている。平等割で各地区25万円、今の世帯数での概算では、世帯割は赤湯105万3千円・宮内74万1千円・沖郷60万6千円・中川12万6千円・梨郷13万5千円・吉野7万2千円・漆山22万2千円・金山4万5千円となる。

◎ナラ枯れ対策について

〈議員〉規模はどの程度か。

〈森づくり推進室長〉昨年8月に吉野地区を除き120本確認している。

〈議員〉駆除された木の再利用は、〈森づくり推進室長〉危害木については、再利用は考えていない。

〈議員〉拡大の可能性は。

〈森づくり推進室長〉可能性があるので、広域的な連携を図って対応したい。

◎里山エリア再生交付金について

〈議員〉内容は。

〈森づくり推進室長〉吉野の森の整備事業であり、吉野石膏よりの寄付金が入っている。

◎米粉利用拡大事業について

〈議員〉どのような事業か。

〈農林課長〉機械購入に補助するものである。

〈議員〉価格はどの程度か。

〈農林課長〉1台500万円程度と聞いている。補助額については、県が1/6と市1/3で合計半額補助するものである。

◎菊祭りについて

〈議員〉菊祭りの決算は。

〈商工観光課長〉582万円の赤字となった。内容は当日券は良かったが、協賛金不足や前売券が売れなかったためと考えている。

〈議員〉場所を双松公園に戻したのに赤字が増えたのは何故か。

〈商工観光課長〉前年より規模が大きくなり、施設費が増えた関係と、入場者目標(2万4千人)を下回ったためと考えている。

〈議員〉今後の方針は。

〈商工観光課長〉監査報告で協賛金は多く望めないとの指摘があった



菊まつり

た。来年度は10月9日〜11月8日までの31日間とし、双松公園で天人の内容で実施する方向であるが、最終的には実行委員会で決定したい。

〈議員〉装飾花壇の価格は。

〈商工観光課長〉1場面200〜300万円ということであったが最終的に4場面で300万円となった。

〈議員〉値切り過ぎて最後の場面が悪くなったとは考えられないか。南陽市の大事な伝統行事であるので、がんばってほしい。

◎旅館協同組合事業補助金について

〈議員〉自己評価がAランクなのに、監査委員の評価がEランクということにどう思うか。

〈商工観光課長〉消防施設点検整備補助金であり、旅館独自でやるべきとの指摘であった。来年度に見直しを行ない、平成22年度からは廃止していきたい。

◎全国さくらシンポジウムについて

〈議員〉内容はどうか。

〈商工観光課長〉4月22日〜23日実施されるもの。22日午後から市民会館で嵐山光三郎先生の基調講演に続き日本花の会の事業報告やさくら保存会の活動報告が行われ、えくぼプラザで交流会が予定されている。23日は現地見学会が予定されており、全国からお客が来るので力を入れている。

〈議員〉成功のためにがんばってほしい。決意のほどはどうか。

〈市長〉今回のイベントは南陽を全国に売るチャンスなので、自ら先頭に立ってがんばりたい。

◎ハイジアパークについて

〈議員〉昨年10月に総支配人が解雇されたが、理由は。

〈商工観光課長〉就業規則違反と聞いている。

〈副市長〉個人の問題であり、労働審判中でもあるので、控えたい。

〈議員〉社長が引き抜いてきた人で現場責任者の立場の人と思うが。

〈副市長〉本人希望で入社したと聞いている。会社人事なのでタッチしていない。

〈議員〉社長の問題について当局として聞いているか。

〈副市長〉監査を実施したが、経理上問題なかった。

〈議員〉不正はなかったということか。

〈副市長〉そのとおり。

〈議員〉流用はなかったのか。

〈副市長〉通帳確認の結果、流用はなかった。

〈議員〉法的手段に訴えてはどうか。

〈副市長〉取締役会として訴訟をいつやるか検討している。金銭的なことは控えたい。

〈議員〉無料招待券の管理と取り扱いについて

〈商工観光課長〉管理責任は社長。取り扱いにはケースバイケースだと

思っている。

〈議員〉年間5,000枚放出している。多いのではないか。

〈商工観光課長〉事実は分からない。

〈副市長〉事実はない。

〈議員〉市当局がしっかり調査してほしい。

〈市長〉今の段階で分かっている。指定管理者として応援したい。経過を見守りたい。

◎梨郷巻地区の治水促進について

〈議員〉羽越水害や豪雨で道路が冠水してきたが、治水対策は。

〈建設課長〉昨年12月、国交省と県の3者で話し合った。年度内に再度方向性を決めたい。

〈議員〉北は急傾斜地、南は最上川なので、早急に治水対策をとってほしい。

◎投資計画について

〈議員〉赤湯バイパスはいつ開通するのか。

〈建設課長〉3月末、完成予定。開通式典を3月27日予定している。

〈議員〉取り付け部分が複雑。安全対策は。指導員の配置は。

〈建設課長〉3月16日から切り替



赤湯バイパス

えになる。交差点は信号がつくしチラシ配布も予定されており、安全には万全を期すと思う。

〈議員〉それ以降の区間整備はどうか。

〈建設課長〉2009年新規事業に入っている。

〈議員〉ルート決定時は地元との話し合いをしてほしい。

◎街路事業について

〈議員〉赤湯表町の事業の今後の進め方は。北側と南側のどちらを優先して進めるのか。

〈建設課長〉同時進行となる模様。Y字路の渋滞問題もあり、年度明けの話し合いになる。

◎持家住宅建設助成金について

〈議員〉内容は。

〈建設課長〉工事費の5%を交付するもの。300万円を限度(高齢者は400万円)で先着順と考えている。3億円の経済効果があると考えている。

〈議員〉周知方法は。

〈建設課長〉市報だけでなく、業者には説明会を実施したい。

〈議員〉3月20日に建設組合の定例総会があるので、チラシを配ってその席で説明してほしい。

◎中学校統合について

〈議員〉新宮内中学校で1,600食調理するというがどうか。

〈学校教育課長〉小学校4校、中学校2校を対象とした調理をした

い。

〈議員〉保育者への説明は。

〈学校教育課長〉今後説明会を予定している。

〈議員〉新学校名が前と同じであれば、中学校統合が吸収統合に見えるがどうか。

〈学校教育課長〉新設と考えている。地域説明会を行っており、準備委員会で学校名の検討をしてき



指定管理を受ける市民体育館

た経過がある。統括委員会の中で2月18日に教育委員会に報告があった。実のある結論だと思っ
ている。
 〈議員〉給食の民営化の方向は。
 〈市長〉決定していかないが、財政的にも今後の課題である。職員組合との話し合いは今後の問題。
 〈議員〉給食運搬のためにも道路整備をお願いしたい。
 〈議員〉運動着等細かい問題も多くあると思うが、はじめ等ないよう
 にお願ひしたい。また、連合運
 動会を復活してほしい。
 〈教育長〉連合運動会は、準備や練習が大変なので交流会はどうか

と考えている。
 ◎プールについて
 〈議員〉夏休み期間の解放時間は10時から午後4時頃と考えている。
 〈議員〉昨年は監視員が集まらな
 かったが、体制は。
 〈学校教育課長〉少なくとも3人体制を考えている。
 〈議員〉3人に先生は含むのか。
 〈学校教育課長〉先生は考えてい
 ない。
 ◎体育施設指定管理料について
 〈議員〉5、800万円の根拠と
 内容は。
 〈社会教育課長〉必要経費から収
 入を引いて決めた。市内6カ所の施設が対象で、スポーツ振興事業
 と考えている。
 〈議員〉指定管理料が大きいので、
 法人化が必要ではないか。
 〈社会教育課長〉3年間のうち、
 早い機会に法人化してほしいと考
 えている。
 ◎教材備品購入費について
 〈議員〉600万円の使い道は。
 〈学校教育課長〉楽器購入を考え
 ており、新中学校3校に配備予定

特別会計

—— 国民健康保険特別会計 ——

〈議員〉4年間に3回も値上げにな
 っている。滞納金も年々増加傾
 向にあり、未納額も3億5、000
 万円を越えている状態である。今
 後の推移は。

〈市長〉厳しい経済状況にあり、
 基金も底をついた状態で特別な手
 法がないのが実情である。

〈議員〉限度を超えていると思う。
 一自治体では困難と思うがどうか。

〈市長〉国や県で統一してもらう
 のが一番と思うが、現実にはそう
 はいかない。市長会等ではいつも
 言っている。今後も訴えていき
 たい。現制度では最良と考えている。

〈議員〉平成元年より保険料が倍
 になっている。収入が増えない今
 大変だと思うがどうか。

〈市長〉この制度は、勤めていな
 い人や自営業や収入の少ない人が
 入っている。滞納者が多く制度上
 の問題と考えている。国策でやっ
 て欲しいと思っている。

—— 下水道事業特別会計 ——

〈議員〉普及率は。

〈上下水道課長〉水洗化率76.9
 %である。

〈議員〉今後の見通しは。

〈上下水道課長〉水洗化率85%を
 目指している。地方債33億円につ
 いての公的資金繰り上げが平成21
 年度で終了する。今後は均等に返
 済していく。

〈議員〉下水道に接続していない
 人への勧奨は。また、接続してい
 ない理由は。

〈上下水道課長〉共用開始後1年
 目と3年目に訪問勧奨しアンケ
 ーともっている。理由としては、
 一人暮らしや資金がないというの
 が大半である。

〈議員〉事業所の未加入はあるか。

〈上下水道課長〉ない。

〈議員〉資金がない場合にバック
 アップはあるのか。

〈上下水道課長〉資金の貸し出し
 制度を利用していただきたい。今
 後とも年次計画を立てながら、接
 続してもらえようきめ細かな対
 応をしていきたい。

市政に対する議員の 一般質問と答弁要旨



市民の健康と安心
食育と地産地消について
板垣致江子 議員

◎国保税の引き上げの理由と滞納額の実態と長期滞納者数、資格証明書の発行状況は。

〈市長〉医療費の増加、税収の落ち込み等で給付基金も皆無の状況、国保事業安定運営のための引き上げ。滞納額は3億1,967万円。長期滞納者は346世帯、資格証明書発行は16世帯30人です。

◎資格証明世帯の子供への対応は。

〈保健課長〉本年4月より、中学生以下の子供には6ヶ月間の短期被保険者証が発行される。

◎20年度より実施の特定健康診査は困惑した市民が多かったが検診率等は。もっと解りやすい広報の必要があったのでは。

〈市長〉一般市民を対象にしていた基本検診が各医療保険者が実施する特定検診に変わり、国保のみの受診率ですがH19年度25.5% H20年度24.6%でした。広報についてはしっかりと検討し、保健指導も力をいれていきたい。

◎各種がん検診受診率や発見率は。

〈市長〉今年度は検診制度の変更のため全ての受診率が低迷したが、今後も受けて良かったと言われる検診を提供すべく努力していく。

◎食育Ⅱ食農教育として、学校教育でも農業体験は必要と考えるが。

〈教育長〉全小学校と中学四校で野菜や米作りに関わる活動を実施している。今後も豊かな体験活動ができるよう家庭・地域との連携に努めていきたい。

◎学校給食における地産地消の現在の状況と今後への考えは。

〈教育長〉学校給食では地産地消率は27%強。今後も、可能な限り身近な地域で生産された食材の利便拡大に努めていきたい。



施政方針ならびに市内
経済の活性化について
高橋 篤 議員

◎先行投資とはどのようなものか、また効果的な施策は。

〈市長〉経済雇用を支援する公共事業等、社会基盤整備の前倒しや優秀な人材の育成を考え、青年教育・小中学校施設や学習環境の整備を積極的に推進していく。

◎広域行政を目指した合併に対するの市長の考えは。

〈市長〉平成22年3月の新合併特例法期限内の合併は相当難しい状況だが、議会の意見を大切にし、新たな枠組みの模索を続けていく。市民の皆様には、これまでと同様に様々な機会を捉え、情報提供を行ないすすめていく。

◎経済の活性化を考え、本市の道路整備について。

〈市長〉国道13号上山バイパスや国道113号赤湯バイパス事業、主要

地方道山形南陽線の整備に併せ、地域において安全で快適な移動実現のために、これらとネットワークをする市道を優先して整備をしていく。また生活関連道路に対しては、地区からの要望等を十分精査し、年次計画で順次整備をしていく。建設関連業種では、工事量の大幅な減少、雇用不安などを考え、道路予算を増額し上半期の早い時期に全体件数の概ね70%を発注したい。

◎観光事業において本市の今後のPRの方法等について。

〈市長〉各種キャンペーンを利用したPR、イベントや物産展と同時に開催する観光PR、インターネット上におけるPR、着地型旅行商品の開発によるPRなど、4点を柱に考え展開をしていく。



青年教育推進事業参加チーム
主催の「ワイン入り足湯」



誰もが安心して利用できる
介護保険制度を!!

佐藤 明 議員

◎介護保険制度は今年4月に2000年の制度開始から10年目を迎えます。この間、介護サービスの総量は増えましたが、社会保障切り捨ての「構造改革」のもとで負担増や「介護とりあげ」が進み、家族介護の負担はいまも重く、一年間に全国で14万人が家族の介護などのために仕事をやめています。南陽市の介護保険制度の現状と問題点は。

〈市長〉高齢化が進展する中でサービス提供体制の確保、充実と保険料水準とのバランスを図りながら、いかに安定した制度運営を図れるかが課題であると捉えています。

◎高い保険料、利用料を負担できず、制度を利用できない低所得者も少なくありません。介護を苦し

めた痛い事件も続いている。経済的理由で介護を受けられない人の実態は。

〈市長〉費用負担の関係で、一部サービス回数を抑制しているケースが見受けられるところもある。経済的理由を抱えている方に、高額介護サービス費や食費・居住費の負担軽減制度などもあり、所得が低い方への配慮も一定程度なされている。

◎在宅生活を制限する要介護認定制度の問題点、つまり「介護とりあげ」「保険あつて介護なし」はないのか。

〈市長〉平成18年度の制度改正により、要支援者の通所介護や福祉用具貸与サービスで、一部利用の制限がなされたところだ。

◎特老ホーム・老健施設の待機者の状況と改善策は。

〈市長〉2月現在の待機者は市内4つの施設の合計で、284人となっている。

新たな整備は困難な状況と判断している。



雇用の創出と確保
に向けて

片平志朗 議員

◎経済、雇用の情勢は悪化の一途をたどっております。その経済対策については。

〈市長〉国の「ふるさと雇用再生特別交付金」及び「緊急雇用創出事業」が実施され、本市においては両事業合わせて1億691万3,000円となっている。このうち平成21年度は3,786万4,000円を予算化して、7つの事業を実施する予定です。両事業の実施により、32人の雇用創出を図れるものと試算している。また、去る2月臨時議会において、2億1,800万円の緊急経済対策を決議いただいたところであり、さらに、市内企業の受注の維持・向上のための方策として、企業の要望受付や首都圏企業との橋渡しを行なうなどして、安定的な雇用機会の創



職業訓練校

出を図っていく。

◎離職者への職業訓練支援については。

〈市長〉国の小中企業緊急雇用安定助成金制度が創設され、企業において教育訓練を実施した際の教育訓練費が、一人一日当たり1,200円から6,000円に大幅に引き上げられたので、市内企業内においても有効に活用していただきたい。また、本市に南陽高等職業訓練校がありますが、市においても運営補助をおこなっており、専門校の短期講座もあるので積極的に受講していただきたい。



景気対策と少子化対策並びに
中学校の統廃合について

白鳥 雅巳 議員

◎景気浮揚の一環として、市内プレミアム付商品券の発売計画全般について。

〈市長〉 額面1,000円の商品券11枚を1セットとし1万円で購入するもので、総額1億円で1,000万円のプレミアム分を市が助成し、市商工会が主体となって販売する。発行時期は4月中旬を予定しており、定額給付金の給付と合わせて実施できれば、より効果的と思っている。

◎少子化対策として、妊婦検診を14回無料化実施は決定したが、今後維持継続していくための財源について。

〈市長〉 第二次補正予算の成立に伴い、2月から14回無料化を実施しますが、財源は国の財政支援が平成22年度までとなっている事か

ら、市としては、財源確保のために拡充された公費負担を平成23年度以降も継続できるように、市長会を通じて要望していく。

◎中学校の統廃合によって廃校となる中学校の今後の利用計画は。

〈教育長〉 平成21年4月、吉野中学校を宮内中学校へ編入し吉野中学校を休校とし、平成22年4月に開校する四中学校の跡地利用については、隣接する小学校の利用も含め、地域の要望も踏まえながら活性化に資する方法を検討していく。

◎今後、小学校の統廃合も懸念されるが、現時点での準備や対策は。

〈教育長〉 学校施設は、災害発生時における地域住民の応急避難場所の役割もある事から、統廃合には、慎重に検討する必要があると考えている。



仕事の問題早急に

田中 貞一 議員

◎市内労働者の雇用環境の実態はどうか、また3月で雇止めもあると言われているが市内及び隣接市町内企業の動向はどうか。

〈市長〉 昨年12月から、市内企業約90社に訪問または電話で聞き取り調査を行なった結果、雇用調整を行なった人数は、245人である。また近隣市町でも相当数の調整が行われ、非正規労働者だけでなく、正規労働者にも及んでいる。

◎早急に雇用対策が重要と考えるが今後の対策はどうか。

〈市長〉 平成21年度は、国の2事業合わせて約3,700万円を予算化し7つの事業を行なう事により32人の雇用創出を図る。また企業の要望受付や首都圏企業との橋渡しをし雇用機会の創出を図る。

◎第5次総合計画の策定を行なう

に当たり財政計画の見直しはどうか。

〈市長〉 平成23年度より第5次総合計画に入るが、現時点で、今後の社会経済情勢を見通すには大変困難であるが、5次総合計画期間においても非常に厳しい行政運営になると思われる。

◎(株)ハイジアパーク南陽に、いつまでどこまで支援を続けていくのか。また、経営の赤字が毎年続いているが今後の対応策はどうか。

〈市長〉 本市の貴重な財産であり施設の維持管理は続けていく。経済改善に努めて頂くほか、外部からの経営検討委員会等も考え、経営の改善策を模索する。

◎年間約3,000万円の大金を遣って管理運営している。存廃を含め検討すべしと思うがどうか。

〈市長〉 引き続き指定管理者制度で運営をしていく。





子育て支援と地球温暖化防止対策について

吉田美枝 議員

◎子育て援助を受けたい人と、援助をしたい人が助け合う会員組織ファミリー・サポート・センター事業の取り組みについて。

〈市長〉県内で17市町、置賜でも5つの自治体で既に取組まれている事業でもあり、南陽市としても前向きに検討しており、今年中にセンターの立ち上げを考えている。また、国の緊急雇用再生特別交付金事業を子育て支援対策事業として活用し、センターの事務経費を市で負担していくような方法で考えている。

◎21年度示された、国で打ち出した保育料の軽減策とはどんな施策か。

〈福祉課長〉多子軽減策で、同一世帯から3人以上の児童が同時に保育施設に入っている場合、3人

目以降の児童の保育料を無料とするものであり、認可外保育園はその適用外である。

◎地球温暖化防止対策と「一人一日1kg、CO₂削減」の取り組みの一つとして、近隣市町に比べ突出して多い家庭系ゴミの減量化について。

〈市民課長〉置賜広域行政組合への分担金として、ごみ処理にかかっている南陽市の経費は約1億6,000万円で、平成19年度における一人一日当たりの排出量は575gである。しかし、市報等による広報や衛生組合連合会の活動を通じたゴミ減量化の推進により、平成20年度は一人一日当たりの排出量も推計で482gと前年度を大きく下回る見込みである。今後とも意識向上を図る努力を続けていく。



教育、産業の振興と福祉医療について

高橋 弘 議員

◎吉野中跡地利用について。

〈教育長〉21年度は、学校・社会教育施設両面での利用が継続して出来るよう、いまままでおり学校教育課で管理する。また、平成22年以降については地域からの要望を踏まえながら公民館と連携し、地域の活性化に資する利用法を検討する。

◎耕作放棄地の現況について。

〈市長〉農業委員会をはじめ、関係機関の協力を得、361haの実態調査を実施した。再利用可能か否かについては一筆ごとの判定が必要のため、現在農業委員会で整理を行っている。夏頃まで終了させたい。放棄地の現況復帰の手立てであるが、地域内の担い手が中心となり、具体的な土地ごとの今後の土地利用の方向性を描いてい

ただく必要性がある。市として話し合いや方向性の具体化に協力していきたい。

◎学童までの医療費補助枠の拡大について。

〈市長〉本市独自で就学前児童への完全無料化を実施しており、好評をいただいているところである。

本年7月から県の医療費助成の対象が就学前児童から小学生まで拡大になる予定であり、小学生においては入院費のみとなるようである。本市としても、県の制度に加えて助成対象を拡大していきたいと、検討しているところである。なお、市独自となると対象拡大に伴う財源が必要となるので、国・県に要望していく。本年は中学生まで入院費無償を検討したい。



吉野中学校

常任委員会審査報告

総務常任委員会

◎南陽市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について。

本案は、統計法で用いられている情報については、個人情報保護から除外すると条例で規定されているが、その統計法の全部が改められた事に伴い、条例の引用する部分について所要の改正を行なうものであり、全員異議なく可決しました。

◎南陽市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について。

本案は、平成21年5月から実施される裁判員制度に伴い、職員が裁判員に選ばれた際に、裁判所に出席する時間を「特別休暇」として取り扱うため、所要の改正を行うものであり、全員異議なく原案のとおり可決しました。

◎南陽市税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定

について。

本案は、個人住民税における公的年金からの特別徴収の開始時期を平成21年度から平成23年度に延期するため、所要の改正を行なうものであり、全員異議なく可決しました。

◎南陽市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について。

本案は、医療費等の増加に伴う歳入の確保を図り、国民健康保険財政の安定化のため、平成21年4月1日から税率の改正と、納期の追加を行なうものであり、審査の中で、このまま推移すれば向こう3年間で3億円近い赤字が見込まれ、国保財政は非常に厳しいとの説明を受けた。採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決しました。

(委員長 田中 貞一)

文教厚生常任委員会

◎南陽市福祉振興基金条例の設定について。

本案は、南陽市福祉愛の基金条例、南陽市地域福祉基金条例を発展的に統合し地域福祉の振興を図るため新たに設定するもので、審査の結果全員異議なく原案のとおり可決しました。

◎南陽市介護保険臨時特例基金条例の設定について。

本案は、平成21年度からの介護報酬の増額改定が、介護保険料の増額改定につながることから、保険料上昇分を抑制するために、国から介護従事者処遇改善臨時特例交付金が今年度中に交付されることにより、この交付金を適正に管理執行するための設定であり、審査の結果全員異議なく原案のとおり可決しました。

◎南陽市高齢者住宅整備資金条例を廃止する条例の設定について。

本案は、昭和63年4月から施行されたが平成12年度以降利用者が皆無になったこと。今年度より住いづくり住宅サポート事業ができてあがることから本条例を廃止するもので、審査の結果全員異議なく原案のとおり可決しました。

◎南陽市長寿祝金支給条例の一部を改正する条例の制定について。

本案は、長寿祝金の額を30万円から10万円に改定するもので、財政状況を考慮し、22年1月1日の基準日から改定するもので、審査の結果全員異議なく原案のとおり可決しました。

◎南陽市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について。

本案は、第4期南陽市高齢者福祉計画、介護保険事業計画の策定に伴い保険料を改定するもので、保険料の設定を所得の少ない方を優遇するため、7段階から9段階にしたこと、介護保険給付基金から約1億2,000万円を充当し保険料の減額を行なったと説明を受け、審査の結果全員異議なく原案のとおり可決しました。

◎南陽市赤湯市民体育館、南陽市武道館、南陽市民プールの指定管理者の指定について。

本案3議案は、南陽市公の施設に係る指定管理者の指定の手続き等に関する条例に基づき、3施設をいずれも南陽市体育協会に指定するもので、審査の結果全員異議



指定管理を受ける市武道館

なく原案のとおり可決しました。

◎平成21年度私立学校関係予算の増額に関する意見書を求める請願について。

本請願は、昨年12月定例会より継続審査となっていたもので、慎重な審査を行なった結果、願意妥当と認め全員異議なく採択としました。

◎物価上昇に見合う公的年金の引き上げを求める請願について。

本請願は、物価上昇にあわせ年金引き上げを国に対して意見書提出を求めるもので、審査の結果賛成多数で継続審査としました。

(委員長 高橋 篤)

産業建設常任委員会

◎南陽市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について。

本案は、農業集落排水事業に地方公営企業法を全面適用するため改正するもので、南陽市特別会計条例についても合わせて改正するものであり、これまでの農林課所管である大橋地区農業集落排水事業を下水道事業会計に一体化し効率化を図るものであり、全員異議なく原案のとおり可決しました。

◎南陽市総合公園、中央花公園、向山公園の指定管理者の指定について。

本案は、南陽市公おおやけの施設に係る指定管理者の指定の手続き等に関する条例に基づき、3施設を南陽市体育協会に指定するもので、指定期間3年初年度管理料5、800万円の説明を受け、市民の利便性が低下しないか等の意見が出されましたが、審査の結果、全員異議なく原案のとおり可決しました。

(委員長 漆山鏗一)

置賜広域病院組合議会報告

公立置賜総合病院とサテライト医療施設（長井・南陽病院、川西診療所）を運営する置賜広域病院組合（管理者 原田俊二 川西町長）議会の2月定例会が、2月16日南陽市議会議場で開催した。

提出された議案は、「平成20年度病院事業会計補正予算」

「平成21年度病院事業会計予算」、「組合職員の自己啓発等休業に関する条例の設定」、「組合職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定」、「組合職員の育児休業に関する条例の一部を改正する条例の制定」、「組合職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定」の7議案をいずれも原案のとおり可決し、閉会した。

平成21年度病院事業会計予算は、病院改革プランに掲げた経営改善策に重点的に取り組むことにし、今年度における実績を踏まえて予算を編成した。



病院事業の業務予定量については、年間入院患者延べ数を22万3、560人、年間外来患者延べ数を35万1、459人、ドック利用者延べ数100人と見込んでいます。

収益的収支は、収入総額を1億5、468万7千円、支出総額を13億7、482万5千円計上した。

資本的収支については、収入及び支出総額をそれぞれ16億5、52万3千円計上した。

(置賜病院議会議員 松本 新一)

2月24日定例議会が開催され、4案件が上程され可決されました。その中で主な可決事項は次のとおりです。

◎平成20年度一般会計補正予算

事業等の確定により4,560万円を減額し、歳入歳出予算総額をそれぞれ49億3,045万円とするものです。

◎平成21年度一般会計予算

平成21年度の歳入歳出予算総額を46億3,783万6千円となりました。(前年比6.9%減)

◎臨時全員協議会の報告

3月11日臨時全員協議会が開催され、平成8年に建設された千代田クリーンセンターごみ焼却炉建設工事入札の談合問題について報告されました。内容については、時効が今年の6月に迫っていることから、落札した請負者の株タクマに対し、談合により生じた損害を賠償請求することで了承しました。

(置広議会議員 片平志朗)

議会報編集委員会研修視察報告

2月17・18日と東京都北区に議会報の研修視察を行ってきました。北区は、人口33万人、世帯数16万、議員数44人で、桜の有名な飛鳥山や都電が区内を走る活気のあるまちです。

発行回数は定例会号4回、臨時号1回の年5回。定例会号は議会活動を伝える役割ですが、議員の顔や会派の考え、方向性などが区民に分かりやすく親しみやすい内容になっていました。年度始めに発行される臨時号は新しい議会の

構成(常任委員会・特別委員会や会派など)の議員紹介、そして議会の仕組みや制度を伝える保存版ものとして市民に捉えてもらうためにもこのような号も必要なのではと考えさせられました。多くの人に読んでもらうためポステイングによる配布やJRや都電の駅に設置するなど大都会なりの努力や問題点も抱えていましたが、色々な面で大変勉強になった研修視察でした。(委員長 板垣致江子)

平成21年3月定例会 請願審査結果表 H21.3.19

| 付託 委員会 | 件名・請願者 | 審査結果 |
|-----------|--|------------------|
| 文教 厚生 | 平成21年度山形県の私立学校関係予算の増額に関する意見書を求める請願 南陽市二色根258番地の27 山形県私学助成をすすめる会 加藤 秀実 | 採 択 |
| | 物価上昇に見合う公的年金の引き上げを求める請願 南陽市柗塚1383 全日本年金者組合 山形県南陽支部 支部長 橋本 陽子 | 継 続 審 査 |

編集後記

新メンバーで議会だよりをお届けしてから一年になるうとしております。未熟ながら、皆様に「読んでいるよ」とお声をかけていただき、有難い事と喜んでおります。今後とも、委員一同見やすい「議会だより」の発行に努めたいと存じますので宜しくお願い致します。

- 委員長 板垣致江子
副委員長 川合 猛
委員 白鳥 雅巳
片平 志朗
松本 新一
桑原 仁

